

あなたの地域での
まちづくり活動の調査
「まちづくり懇談会」

市川三郷町役場 まちづくり推進課 青柳 友里

◆「市川地区中央部まちづくり懇談会」の活動◆

行政と地域の人々がまちづくりに連携・協働していくことを目的とし、平成14年度にまちづくりを検討する『まちづくり研究会』と住民の組織『まちづくり懇談会』が創設されました。

まちづくり研究会は、町の各課を中心に学識者、町議等で構成され、年に1回開催します。町としての意思決定をする場です。

まちづくり懇談会は、市川地区中央部に住む住民有志と町都市計画係を中心に構成され、月1回開催されます。住民による活動組織です。

まちづくり研究会



まちづくり懇談会



◇活動の成果◇

市川地区中央部にある資源を生かした街なみ環境の整備を平成17年度より開始しました。

まちづくり懇談会では、『どの場所に整備するか』『どのようなデザインにするか』など住民目線を加えた話し合いを行い、平成26年度にすべてのスポットが完成しました。維持管理は、町と住民が協力して行っています。

→まちかどスポットは、近隣住民の散歩道として使われたり、高校生がベンチに座っておしゃべりをしたりと、住民の憩いの場として、活用されています。

まちかどスポットの一例

柿の木の辻



秋葉の辻



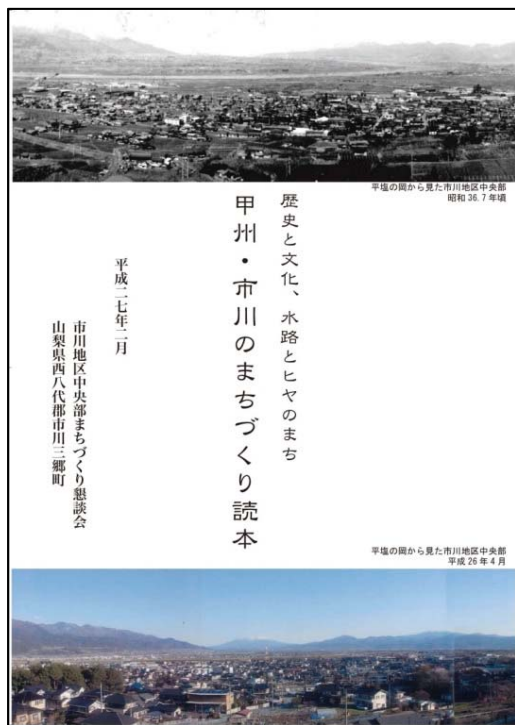
中北の井戸端



◇活動の成果◇

市川地区中央部をはじめとする市川大門地区の歴史をまとめた「甲州・市川まちづくり読本」を作成し、希望する方に無料で配布しました。読本の執筆・校正はまちづくり懇談会のメンバーで行いました。

また、今年度は新たに『金曜どうでしょう』というイベントを開催しました。これは、商店街の方につまみや飲み物を用意していただき（100～300円程度）商店街用駐車場を会場に、近隣に住む住民や近くで働く会社員、役場職員たちに夕方のちょっと一杯を楽しむ空間を提供するものです。市川地区中央部に賑わいを戻そうと「まちづくり研究会」の構成メンバーである町商工係が企画しました。



まちづくり読本



金曜どうでしょう

—成功の要因は？—

「懇談会員である学識者の方が私たちの活動の方向づけをしてくれていることが大きな理由だと思います。」

—活動を通じて得たこと—

「14年間の活動を通じて、同志を得ることができました。また、町中のいろんな人と知り合いになりました。」

—現状の課題点—

「現在、懇談会員が固定化し、参加人数も4～5人程度です。

そのため、活動が1人よがりにならないか心配です。

今後は懇談会員の層を厚くしていくべきかなと感じています。」



市川地区中央部まちづくり懇談会
会長 有泉 一征

◇今後の活動の展開◇

有泉会長「今まで続いている紙のまち生き生きまつりなどの活動が続けていくことはもちろん、
現在駅にまちの案内マップを設置していますが、まちかどスポットや歴史的なスポットに看板などを設置し、市川三郷を訪れた人たちに楽しんでもらえるようなまちづくりをしていきたいです。」



紙のまち生き生きまつり



まちの案内マップ